

地域間幹線系統別確保維持計画

令和5年6月9日

(住所) 長野県飯田市大通り2丁目208番地
(名称) 信南交通株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 中島 一夫 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 駒場線
運行区間 : 飯田駅前～市立病院～曾山入口
計画期間 : 令和5年10月1日～令和8年9月30日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

当該路線は、飯田市立病院を經由し飯田市中心市街地と飯田市西部地区および下伊那郡西部地区（阿智村・平谷村・根羽村）を結ぶ路線である。
飯田市西部地区および下伊那郡西部地区には総合病院が存在しないため、地域の基幹医療機関として多くの地域住民が飯田市立病院にて診察を受けており、当該路線は同病院を經由する事から、同院を利用される方には無くてはならない路線となっている。
また、沿線には郊外商業施設の出店があいついでおり、買い物を目的とする方にも利用されている他、沿線には下伊那農業高校、飯田OIDE長姫高校が存在する事から両校に通学する高校生にとっては唯一の公共交通となっている。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

輸送量を指標とし計画輸送量の15.9人以上を目標とする

(2) 運行による効果

市立病院経由駒場線を運行する事により、移動手段を持たない沿線住民にとって、飯田市立病院にて受診できる安心感に繋がっている。また、阿智村巡回バス、西部コミュニティバスとの接続によるネットワーク形成により幹線系統としての役割を維持して行く。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- 高校の学校行事に合わせた臨時便・続行便の運行（信南交通）
- 沿線在住外国人向け「バスの乗り案内チラシ」の作成（信南交通）
- 新入学高校生に対し利用促進チラシの配布（南信州地域交通問題協議会）
- 小学生対象乗り方教室の実施（南信州交通問題協議会）
- 1乗車大人100円、小人50円均一の「公共交通の日」を数回実施（飯田市）

5. 費用負担額					
補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R5.10～R6.9	円 13,368,522	円 3,799,500	円 3,799,500	円 5,769,522	円
R6.10～R7.9	円 14,131,456	円 3,789,000	円 3,789,000	円 6,553,456	円
R7.10～R8.9	円 14,311,260	円 3,817,500	円 3,817,500	円 6,676,260	円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 発券所の営業時間見直しにより担当職員を削減し間接人件費を圧縮 ● 大型免許受験資格特例を活用して若年運転手を育成し運転手人件費の圧縮

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者・沿線住民へアンケート調査を実施し要望把握 ● OD調査を実施し利用実態を把握し次年度ダイヤへ反映
(2) 実施主体
飯田市、信南交通
(3) 定量的な効果目標（収支改善率1%以上を原則）
上記取組を実施する事により、収支率対前年1%以上の増加を目標とする
(4) 実施に向けたスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査 令和5年7月～8月アンケート実施。9月集約、分析 ● OD調査 令和5年7月～8月調査実施 9月～10月分析

(5) 実施時期
● 分析結果を基に令和6年4月ダイヤ改正
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県飯田市大通り2丁目208番地
(所 属) 運輸サービス部
(氏 名) 林 浩人
(電 話) 0265-24-0009
(F A X) 0265-24-0017
(e-mail) hhayashi@shinnan.co.jp